



介護保険対象外のサービスの利用支援を
山田 敏夫議員

問 身寄りのない高齢者の入院時の身元保証代行や死後手続の支援は。

答 今後、ますます身寄りのない高齢者が増えていくことを想定している。社会福祉協議会の第3期ふじみ野市地域福祉活動計画に基づく新規事業として、身元保証サービスや死後事務委任事業の創設について研究を進めている。

健康診断の受診率は、令和5年度で約68%の状況である。

教員による定期的な家庭訪問等の際に、健康状態の確認をし受診の機会確保に努めている。不登校児童生徒の将来的な健康リスクを回避できるように学校や家庭、学校医等と連携を図りながら実施していく。

不登校児童生徒の定期健診

問 不登校児童生徒が学校で定期健診を受診できない場合には、病気が見過ごされて将来的に健康リスクを背負うことになると考え。

答 教育委員会としてどのように対応していくのか。



ゼロカーボンの推進
前田 広子議員



再配達を減らそう！

ゼロカーボン推進の観点からも市内公共施設等への設置に向け検討を進める。

小1の壁対策

問 朝の時間帯の児童への取り組みとして開門時間を早めるなど本市の考えは。

答 小学校登校時刻はおおむね8時となっているが、現在のところ要望は受けていない。

学校給食の放射性物質測定検査

問 測定検査は役割を終えたのでは。

答 これまでの検査で放射性物質の検出がないことや、食材出荷前に同検査が実施されて安全性が確保されていると判断できるところから、来年度の事業見直しを図っていきたいと考える。



職員の離職防止の取り組み
板倉 篤議員

問 本市職員の離職状況は。

答 令和5年度の厚生労働省の調査によると新規卒業者の3年目までの離職率は平均35.2%だが、本市では4.0%。定年退職等を含む全体の離職率は平均15.0%だが、本市では4.4%といずれも大きく下回っている。

自然と触れ合うことのできる環境づくり

問 多面的な機能、設備を備えた総合公園を整備しては。

答 市街地でも最も広い福岡中央公園でも面積は約3.2haと総合公園の標準の約3分の1で、本市の土地利用状況では敷地確保は難しい状況である。



市民憩の森の一部



スポーツ推進に関して
鈴木 宏樹議員

問 スポーツ施設は様々な団体が公平に利用できるようにすべき。どのようにルール改正したか。

答 一つの団体が複数のアカウントを取得し重複して抽選予約に申し込んでいたため、団体登録の定義を見直しアカウント登録数を整理した。

また、アリーナ等の抽選予約申込条件を団体登録のみとした。

さらに、利用7日前からの予約は窓口と電話に限定し、予約時の支払いにすることで当日キャンセル防止につながっている。抽選予約の当選確率を上げる改善を図ったが、今後も利用者の意見を聞いていく。

公共施設の在り方

問 老朽施設の今後の在り方は。

答 コミュニティ施設は市民のネットワーク作り、多世代交流や市の魅力発信等、福祉施設は健康増進や市民交流によりいきいきと暮らす効果等が得られ、事業効果も含めて評価する必要がある。

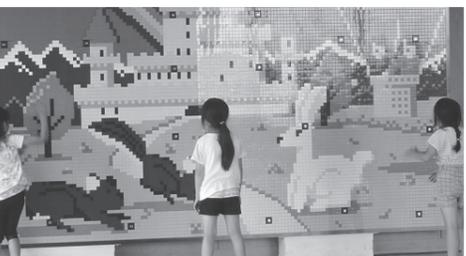
また、地域での活動の場として活用されている施設もある。公共施設白書のデータを基に地域の実情に応じた在り方について検討する。



生活困窮者の住居確保支援の推進
床井 紀範議員

問 生活困窮者自立支援法等の関係法令の改正があった。市の対応は。

答 法改正を受け、本市では生活困窮者等の相談支援体制の充実、支援対象者の課題解決のための多機関との切れ目のない一体的な支援の実施に向けた検討を進めている。



児童センターで楽しく遊ぶ

問 上福岡駅とふじみ野駅のホームドア整備について、市としての対応は。

答 東武鉄道は今年4月に上福岡駅とふじみ野駅など、8駅を令和6年度の工事実施駅として発表した。

踏切にAIセンサー装置を

問 踏切事故を防止するために、AIセンサー装置を導入し、踏切の安全性を高めることをこれまで指摘してきた。東武鉄道に対して強く要請すべきでは。

答 踏切障害物検知装置



AIで踏切の事故を防げ

問 身寄りのない高齢者の入院時の身元保証代行や死後手続の支援は。



問 生活困窮者自立支援法等の関係法令の改正があった。市の対応は。

問 市立児童センターの充実を

問 踏切にAIセンサー装置を